新座母親大会

第37回

10月16日(日)

野火止公民館

分科会　10:00
全体会　13:30

●お弁当を販売します。
●保育室あります。
●参加券当日あります。

第37回新座母親大会実行委員会

連絡先　tel. 048−478−2229　048−201−6609

母親大会とは

1945 年、ヒロシマ・ナガサキの被爆に続き、1954 年のビキニ水爆実験で三たび死の灰の犠牲者を出した日本の母親たちが、「子どもたちを核戦争から守ろう」と原水爆禁止の運動を始めました。

この声は平塚らいてうたちにより世界に伝えられ、世界母親大会がスイスのローザンヌで開かれました。日本代表を送り出すため、1955 年、東京で第 1 回日本母親大会が開催されました。

それから 53 年、「生命を生み出す母親は・・」のスローガンのもとに、多くの団体・個人が毎年母親大会に集まり、問題を話し合い、行動をすすめています。

新座母親大会は

年 1 回、市内の小中学校や公民館を会場に大会を開催しています。

母親たちを中心に広く市民が参加し、分科会や全体会で、話し合いや学習を重ねています。1975 年の第 1 回大会から、今年で第 37 回を迎えます。

大会の運営は、母親連絡会が毎年実行委員会を発足させて行っています。現在、13 の市民団体・グループと地域から参加する個人で構成されています。

母親大会の参加者は

母親だけでなく、父親，若もの、高齢者など、女も男もだれもが参加できます。そして、幅広い参加者の、あらゆる立場や主義主張を大切にして、お互いの一致点を見つけあいながら、自由な話し合いが行われています。

第 37 回新座母親大会実行委員会

地域実行委員(個人名は略)　子どもの問題連絡会　保育園保護者連絡会　新座市教職員組合　新座市職員労働組合　さいたまコープ　新座の自然とくらしを守る市民の会　埼玉土建新座支部　新座民主商工会　新日本婦人の会　新座市学童保育の会　性と子育てを考える会　年金者組合　医療生協　埼高教

新座母親大会は
　いのちをつなぎ
　　歴史をひらき
　　　平和をまもる
　　女と男のつどいです。

新座母親大会で
　語り合いましょう。

全体会

pm. 1:30~

オープニング

みんなで楽しくフラダンス

記念講演

大震災・原発・放射能、いま子どもらは

アーサー・ビナード さん　詩人

アーサー・ビナード　1967 年、米・ミシガン州生まれ。詩人、俳人、随筆家。妻は詩人の木坂涼。ニューヨーク州コルゲイト大学で英米文学を学び、1990 年に来日、日本語で詩作を始める。2001 年詩集『釣り上げては』で中原中也賞、2008 年詩集『左右の安全』で山本健吉文学賞を受賞。文化放送のコメンテーターとしても活躍。憲法、平和、原発についての講演活動も行っている。

　主な著書は詩集の他に、絵本『ここが家だ ベンシャーンの第五福竜丸』エッセイ『日本語ぽこりぽこり』『亜米利加にも負けず』他多数。

分　科　会

	分科会名	助言者
1	子育てトーク Ⅰ **幼い子ども**	公立保育園園長
2	子育てトーク Ⅱ **学校教育**	関根　幸子 東北小教員 野村　礼子 ５中教員
3	**「男女平等」は世界の流れ** ―変えよう社会と身の回り	内田　典子 元大学非常勤講師
4	**高齢期を 安心して 輝いて** **自分らしく 生きるために** ―健康・年金・遺言・お墓	徳田五十六 生活協同組合 埼玉高齢協
5	**原発と私たちのくらし** ―原発・放射能・自然エネルギー・ 生態系は ―これからの日本、私たちのくらしは	川島　啓一 県立朝霞高校教員

●バス時刻表

ひばりケ丘→志木 （新座市役所下車）	清瀬→志木 （オリエンタル酵母（こうぼ））	志木→清瀬 （野火止小学校下車）
⑨ 10　27 ⑩ 17　45 ⑬ 14　32　44 ⑭ 2　19　40	⑨ 22　43 ⑩ 28　55 ⑬ 20　50 ⑭ 32	⑨ 15　26　48 ⑩ 5　34　51 ⑬ 5　26　40　46

いのち
生命を生み出す母親は、
生命を育て、生命を守ることをのぞみます。